KPC－9612J

Ｖ５．２Ｊ 追加コマンド説明書

このコマンド説明書は現在 ＫＰＣ－９６１２Ｊに搭載されているファームウエアーバーション５．２Ｊで新たに追加となった機能を説明するものです。 付属の取扱説明書及びコマンド説明書と併せてご覧ください。

TOKYO HY-POWER

本追加コマンド説明書はＫＰＣ－９６１２Ｊのファームウエアーバーション（ﾛﾑﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）５．２Ｊで拡張された機能、コマンドについて補足説明するもので、本説明書に記載の無いコマンドは付属の「コマンド説明書」をご参照ください。　尚、追加及び変更の無いコマンドでもＫＰＣ－９６１２Ｊに関係すると思われるものは本説明書に記載してあります。

Ｖ５．２Ｊでの変更点

ＫＰＣ－９６１２Ｊ バージョン５．２Ｊでは新たに６個のコマンドが追加になり、５個のコマンドが削除になりました。また、４個のコマンドで動作が一部変更になりました。
以下にこれらのコマンドを示します。

新コマンド	変更コマンド	削除コマンド
ＢＰ９６	ＨＢＡＵＤ	ＡＢＡＵＤ
ＣＴＲＬ	ＩＮＴＦＡＣＥ	ＮＵＣＲ
ＭＯＤＥ	ＯＮＥＲＡＤＩＯ	ＮＵＬＦ
ＭＹＤＲＯＰ	ＰＢＦＯＲＷＲＤ	ＰＡＲＩＴＹ
ＸＫＣＨＫＳＵＭ		ＷＥＦＡＸ
ＸＰＯＬＬＥＤ		

変更内容

ＨＢＡＵＤ　　：ポート２が最高１９，２００bpsまで設定可能
ＩＮＴＦＡＣＥ　：パラメーターにＸＫＩＳＳが追加
ＯＮＥＲＡＤＩＯ：一方のポート受信中は他のポートは送信待機の状態に設定
ＰＢＦＯＲＷＲＤ：フォワードするポートを指定する機能が追加

●ＡＢＡＵＤ，ＰＡＲＩＴＹコマンドが削除、それに変るＭＯＤＥコマンドが追加されました。
●ＷＥＦＡＸコマンドが削除され、ウェザーＦＡＸの受信はできません。

バージョン５．２Ｊの特徴

以下にバージョン５．２Ｊの特徴を示しますが、「コマンド説明書」の”バージョン５．１Ｊ特徴”はすべて５．２Ｊでも有効です。

●ＰＢＢＳからのメッセージフォワードおよびリバースフォワード時にポート指定が可能。
（ＰＢＦＯＲＷＲＤコマンド）

●ラジオポートのコントロール出力ピンで周辺機器（トランシーバーの周波数等）のコントロールが可能。　（ＣＴＲＬコマンド）

●９６００ボーで使用するＧＭＳＫモデムの送信フィルターの特性をコマンドで変更可能
（ＢＰ９６コマンド）

●Ｇ８ＢＰＱのマルチドロップＫＩＳＳ対応。（ＭＹＤＲＯＰコマンド）

●外部ＫＩＳＳプロトコル対応。（ＩＮＴＦＡＣＥコマンド）

ＢＰ９６　　9612J V5.2　　PACKET

省略語	ＢＰ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＢＰ９６　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＢＰ　ＯＮ／ＯＦＦ

パラメータ：ＯＦＦ：９６００ｂｐｓの送信信号アイパターンが最適となるような送信波形フィルターを使用します。　（ＧＭＳＫモデムのＢＴ値は０．５に設定されます）

　　ＯＮ　：９６００ｂｐｓの送信信号アイパターンが少し歪んだ波形となりますが、ほとんどのトランシーバーで動作します。
　　（ＧＭＳＫモデムのＢＴ値は０．３に設定されます）

文　　例：ＢＰ９６　ＯＮ
　　ＢＰ９６　ＯＦＦ

解　　説：ＫＰＣ－９６１２Ｊの９６００ｂｐｓポートで使用しているＧＭＳＫモデムＩＣの送信フィルター値（ＢＴ値）を変更します。ＯＮの時はＢＴ＝０．３、ＯＦＦの時はＢＴ＝０．５

ＣＤ　　ALL V3.0　　PACKET

省略語	ＣＤ	初期設定値	INTERNAL/INTERNAL

書　　式：ＣＤ　ＩＮＴＥＲＮＡＬ／ＥＸＴＥＲＮＡＬ／ＳＯＦＴＷＡＲＥ(PORT1のみ)

パラメータ：ＩＮＴＥＲＮＡＬ：ＫＰＣ－９６１２Ｊは内蔵モデムのキャリア検出で信号の有無を検出します。ポート１(1200bps)は音声やノイズなどのあらゆるオーオディオ入力信号でＲｃｖランプは点灯します。ポート２は９６００ｂｐｓの信号受信時のみにＲｃｖランプは点灯します。(signal based)

　　ＥＸＴＥＲＮＡＬ：キャリア検波はラジオポートのＸＣＤピンに接続された外部からのスケルチ信号によって行われます。

　　ＳＯＦＴＷＡＲＥ：このオプションは１２００ｂｐｓポートのみ有効です。
　　ＴＮＣ内部のファームウエアがキャリア検出を行ないます。これはスケルチをオープンにした状態でのオペレーションを可能にします。
　　ＳＯＦＴＷＡＲＥ検波の正しい動作には適切なイコライザー特性とＳＷＰパラメーターの影響が大きく作用します。Ｒｃｖランプの点滅はイコライザー特性の調整が必要なことを示しています。

文　　例：ＣＤ　ＳＯＦＴＷＡＲＥ／ＩＮＴＥＲＮＡＬ
　　ＣＤ　ＳＯＦＴＷＡＲＥ

解　　説：このコマンドはＫＰＣ－９６１２Ｊのキャリアー検出方法を設定します。

参　　照：ＯＮＥＲＡＤＩＯ，ＳＷＰ

省略語	ＣＴＲ	初期設定値	－

書　　式：ＣＴＲＬ　［Ａ／Ｂ］　［ｎ／ＯＮ／ＯＦＦ／ＬＯＮＧ］
　　ＣＴＲ　［Ａ／Ｂ］　［ｎ／ＯＮ／ＯＦＦ／ＬＯＮＧ］
パラメータ：ｎ＝１～２０
文　　例：ＣＴＲ　Ａ１０
　　ＣＴＲ　／Ｂ５
　　ＣＴＲ　Ａ３／Ａ５
解　　説：このコマンドはＫＰＣ－９６１２Ｊの２つのラジオポートにある２つのコントロールピン(CTLA,CTLB)を動作させます。このコントロールピンの用途はトランシーバーの周波数や、
そ　　の他、周辺機器をキーボードからコントロールすることができます。
ＣＴＲＬコマンドの次にＡまたはＢでコントロールピンを指定し、もしＡまたはＢの指定が無い場合はＣＴＬＡ、ＣＴＬＢの両方とも動作します。　また、／（スラッシュ）でポートを指定しない時はポート１、ポート２の両方ともＣＴＬＡ、ＣＴＬＢが動作します。
例えば、１２００ｂｐｓポートのＣＴＬＡピンに３回パルスを送り９６００ｂｐｓポートのＣＴＬＡピンに５回パルスを送る場合は以下の様になります。

```
cmd:CTRL A3/A5          (ﾎﾟｰﾄ1 指定／ﾎﾟｰﾄ2指定)
```

スラッシュの左側Ａ３はポート１のＣＴＬＡピンを３回ＧＮＤにショートさせることを意味し、右側Ａ５はポート２のＣＴＬＡピンを５回ＧＮＤにショートさせることを意味します。
このコマンドのオプションパラメーターとして、ｎで出力パルスの回数を指定します。
出力パルスは約０．１秒間Ｌレベル（ＧＮＤレベル）となります。
ＯＮが指定された場合は、ＯＦＦが指定される間Ｌレベルを維持します。（電源を入れ直した場合はＨレベルに戻ります）　ＬＯＮＧが指定された場合は、Ｌレベルを約１．５秒間維持します。

注意：ＣＴＬＡ、ＣＴＬＢピンを接続したトランシーバーケーブルは他のＫＰＣシリーズでは使用できません。他のＫＰＣシリーズではＣＴＬＡ、ＣＴＬＢピンに相当する端子はＧＮＤに割当てられています。　使用した場合はコントロールする機器が誤動作しますのでご注意ください。

ＤＡＹＳＴＲ　　KPC-3J,9612J V5.1　　PACKET

省略語	ＤＡＹＳ	初期設定値	mm/dd/yy hh:mm:ss

書　　式：ＤＡＹＳＴＲ
　　ＤＡＹＳ
パラメータ：ｍ，ｄ，ｈ，ｙ，ｓ　（半角小文字）
文　　例：ＤＡＹＳＴＲ　ｍｍｍ　ｄ　１９ｙｙ　ｈ：ｍｍ　ＪＳＴ
　　ＤＡＹＳ　ｍｍｍ　ｄ　１９ｙｙ　ｈ：ｍｍ　ＪＳＴ
解　　説：このコマンドは小文字の ｍ，ｄ，ｈ，ｙ，ｓ，を使用し日時の表示フォーマットを設定します。（日時の設定は ＤＡＹＴＩＭＥ コマンドで行ないます）

ここで設定する表示のフォーマットは、ＰＢＢＳ、ＫＡ－ＮＯＤＥ、その他すべてのタイムスタンプに使用されます。小文字の ｍは分に相当し ｈの後に指定します。
もし ｍ，ｄ，ｈ，ｙ，ｓ を１文字で指定した場合、日時表示の数字が１０以下になったときには１桁表示になり、２文字で指定した場合１０以下になっても２桁表示になります。
また、月指定（ｍ）を３文字で指定した場合は月（英単語）の最初のスペル３文字の表示となります。（７月＝ＪＵＬＹ　表示 ＪＵＬ）タイムゾーン、その他の簡単な追加文字も設定できます。以下にＤＡＹＳＴＲコマンドの設定例を示します。

ＤＡＹＳＴＲの設定	日時表示
mm/dd/yy hh:mm:ss	07/16/94 12:14:22
dd/mmm/yy hh:mm JST	16/JUL/94 12:14 JST
d.m.y h:mm:ss	16.7.94 12:14:22
d.mm.yy h:mm	16.07.94 12:14
mmm d 19yy h:mm JST	JUL 7 1994 12:14 JST
TIME hh:mm DATE:mmm dd,19yy	TIME 12:14 DATE JUL 07,1994

【注意】：ＤＡＹＳＴＲコマンドで日時の設定をした場合ＫＰＣ－９６１２Ｊ内蔵のリアルタイムクロックが動作しなくなりますのでご注意ください。日時設定はＤＡＹＴＩＭＥコマンドで行なってください。

参　　照：ＤＡＹＴＩＭＥ

ＨＢＡＵＤ　　ALL　　PACKET

省略語	ＨＢ	初期設定値	1200/9600

書　　式：ＨＢＡＵＤ　ｎ
　　ＨＢ　ｎ
パラメータ：ｎ＝３００，４００，６００，１２００，４８００，９６００，１９２００
　　ＰＯＲＴ１：３００，４００，６００，１２００
　　ＰＯＲＴ２：４８００，９６００，１９２００
文　　例：ＨＢＡＵＤ　１２００／９６００
　　ＨＢ　１２００
解　　説：無線機側の通信速度（ボーレート）を設定します。単位はボー（ｂｐｓ）です。
　　ＰＯＲＴ１を３００ボーに設定した場合、一般にＨＦ帯で使用されている３００ボーのトーン周波数と周波数構成が異なるためＨＦ帯での運用は事実上できません。
　　ＲＳ－２３２Ｃのボーレート設定はＭＯＤＥコマンドで行ないます。

ＨＥＬＰ　　KPC-3J,9612J　V5.1

省略語	Ｈ	初期設定値	－

書　　式：ＨＥＬＰ　コマンド
　　ＨＥＬＰ
パラメータ：コマンド名
文　　例：Ｈ　ＰＢＦ
　　Ｈ
解　　説：現在使用可能な全てのコマンドがディスプレーに表示される直接コマンドです。
　　「ＨＥＬＰ　コマンド名」で指定したコマンドの簡単な日本語説明が表示されます。
　　また、「ＨＥＬＰ　ＨＥＬＰ」全てのコマンドの説明が表示されます。

例：　cmd:H TXD↵
　　cmd:H H↵

ＨＴＥＸＴ　　KPC-3J,9612J　V5.1　　PACKET

省略語	ＨＴ	初期設定値	なし

書　　式：ＨＴＥＸＴ　×××××××
　　ＨＴ　×××××××
パラメータ：取扱説明書ＰＢＢＳの項参照
文　　例：ＨＴＥＸＴ　１３．ＪＮＥＴ１．ＪＰＮ．ＡＳ　［ＮＩＩＺＡ］　Ｚ：１３３０
　　ＨＴ　１３．ＪＮＥＴ１．ＪＰＮ．ＡＳ
解　　説：このコマンドであなたのＰＢＢＳの階層アドレス指定を行ないます。
　　設定する場合は、あなたの階層アドレスのみ指定しします。
　　あなたの階層アドレスは県などの行政単位（１３）．地域名称（ＪＮＥＴ１）．国名表示（ＪＰＮ）．大陸表示（ＡＳ）から成り、それぞれピリオドおよびスペースで区切られています。　階層アドレス指定等で不明な点は、最寄りの転送系ＢＢＳのシスオペに問い合せて見ると良いでしょう。　％を入力することで設定を消去できます。

【注意】このコマンドが設定されて無い場合はＰＢＦＯＲＷＲＤコマンドが動作しません。
　　通常の（自動転送を行なわない）メールボックス運用では設定する必要はありません。

参　　照：ＰＢＦＯＲＷＲＤ，ＰＢＲＥＶＥＲＳ，取扱説明書（パーソナルメールボックスの項）

ＩＮＴＦＡＣＥ　　ALL　V3.0

省略語	ＩＮ	初期設定値	ＮＥＷＵＳＥＲ

書　　式：INTFACE NEWUSER/TERM/BBS/KISS/HOST/XKISS
パラメータ：NEWUSER/TERM/BBS/KISS/HOST/XKISS
文　　例：ＩＮＴＦＡＣＥ　ＨＯＳＴ
　　ＩＮ　ＫＩＳＳ
解　　説：NEWUSER :このモードに設定した時は２３個の基本的なコマンドが使用できます。
　　TERMINAL:ＫＰＣ－９６１２Ｊのすべてのコマンドが有効となります。
　　BBS　　:このモードはディスプレイに *** connect request ,*** FRMR,etc などが表示されることを阻止します。これはＲＢＢＳなどでアップロードされたファイルに、それらの文字が入ることを防ぎます。（ＲＢＢＳを運用する場合はＢＢＳに設定します）
　　HOST　:カントロニクス ホスト モード動作となります。このモードはカントロニクス社のホストマスタープログラムを使用する場合に設定します。
　　KISS　:Phil Karn氏によって特定されたＫＩＳＳコードが有効になり、TCP/IPまたはKISSモード対応ソフトを動作させることができます。KISSモードからターミナルモードに戻る為には、ハードリセットさせるか、TCP/IPの中のコマンドを使って戻ります。
　　XKISS　:Ｇ８ＢＰＱなどの外部ＫＩＳＳプロトコルを使用する場合に設定します。

　　注意：新しいモードに変更する場合は、コマンド変更後にＲＥＳＥＴコマンドを実行するか、ＴＮＣの電源を入れ直さなければなりません。

ＫＮＸＣＯＮ　　KPC-4JB,9612J　V5.0　　KA-NODE

省略語	ＫＮＸ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＫＮＸＣＯＮ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＫＮＸ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：ＫＡ－ＮＯＤＥのクロスコネクト機能を動作させます。
　　ＯＦＦ：ＫＡ－ＮＯＤＥのクロスコネクト機能を止めます。
文　　例：ＫＮＸＣＯＮ　ＯＮ
　　ＫＮＸ　ＯＮ
解　　説：ＫＰＣ－９６１２Ｊには、ゲートウェイ機能の他にＫＡ－ＮＯＤＥを使用したクロスコネクト機能があります。このコマンドがＯＮの時は、ＫＡ－ＮＯＤＥにコネクトしたときにクロスコネクトコマンド（Ｘ）が使用出来、異なるバンド、モード間の通信が可能となります。ＯＦＦの場合この機能は動作しません。
　　（ＭＹＧＡＴＥが設定してあれば、ゲートウェイ機能は動作します）
参　　照：ＮＵＭＮＯＤＥＳ，ＭＹＮＯＤＥ

ＬＥＤＳ　　KPC-3J, 9612J　V5.1

省略語	Ｌ	初期設定値	ＯＮ

書　　式：ＬＥＤＳ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　Ｌ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：　ＯＮ　：フロントパネルのＬＥＤを点灯させます。
　　ＯＦＦ：フロントパネルのＬＥＤを消灯させます。
文　　例：ＬＥＤＳ　ＯＮ
　　Ｌ　ＯＦＦ
解　　説：フロントパネルのＬＥＤの点灯させるか消灯させるかの設定をします。
　　ＬＥＤを消灯することで消費電流を押えることが出来ます。

ＭＯＤＥ　　9612J　V5.2　　ALL MODE

省略語	ＭＯＤ	初期設定値	0 , NONE, 8, 1

書　　式：ＭＯＤＥ　［ｂ］　［, ［ｐ］, ［ｄ］, ［ｓ］］
　　ＭＯＤ　［ｂ］　［, ［ｐ］, ［ｄ］, ［ｓ］］

パラメータ：ｂ：ターミナルボーレートを設定します。
　　０、１２００、１８００、２４００、４８００、９６００、１９２００
　　ｐ：パリティチェックを指定します。
　　ＥＶＥＮ＝偶数パリティ
　　ＯＤＤ　＝奇数パリティ
　　ＮＯＮＥ＝パリティチェック無し　（初期設定値）
　　ｄ：データービットを指定します。
　　８＝８ビット　（初期設定値）
　　７＝７ビット
　　ｓ：ストップビットを指定します
　　１＝１ビット　（初期設定値）
　　２＝２ビット

文　　例：ＭＯＤＥ　９６００
　　ＭＯＤ　１９２００，ＮＯＮＥ，８，１

解　　説：ＫＰＣ－９６１２ＪのＲＳ－２３２Ｃパラメーターを設定します。単にボーレートのみを入力した場合（ＭＯＤ　９６００）は他のパラメーターは変更されません。また、ボーレートを０に設定した時は立上げ時にオートボーレートが動作します。
パリティのみを変更する場合は、ボーレートとパリティを入力するか、またはボーレート指定の場所をカンマで指定することもできます。例えば、データービットのみを変更する場合は次のように入力します。　ＭＯＤＥ　，，７

ＭＸＭＩＴ　　KPC-3J、9612J　V5.1　　PACKET

省略語	ＭＸ	初期設定値	ＯＮ

書　　式：ＭＸＭＩＴ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＭＸ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：送信パケットのモニターをする。
　　ＯＦＦ：送信パケットのモニターをしない。
文　　例：ＭＸＭＩＴ　ＯＦＦ
　　ＭＸ　ＯＮ
解　　説：ＯＮのときは送信パケットを受信データと同じようにディスプレイに表示します。
　　パケットフレームを表示させるには ＭＯＮＩＴＯＲ，ＭＣＯＭ，ＭＣＯＮ，ＭＲＥＳＰ
　　コマンドで設定し、表示形式は ＴＲＡＣＥ，ＭＳＴＡＭＰ，ＨＥＡＤＥＲＬＮコマンドに
　　従います。現在どの様なパケットを送信しているのかチェックするのに便利です。

参　　照：ＭＯＮＩＴＯＲ

ＭＹＤＲＯＰ　　9612J　V5.2　　PACKET

省略語	ＭＹＤ	初期設定値	０／１

書　　式：ＭＹＤＲＯＰ　ｎ
　　ＭＹＤ　ｎ

パラメータ：ｎ＝０～１５

文　　例：ＭＹＤＲＯＰ　１／０
　　ＭＹＤ　２／３

解　　説：このコマンドはＧ８ＢＰＱ　ｍｕｌｔｉ　ｄｒｏｐ　ＫＩＳＳモードでＫＰＣ－９６１２Ｊを
　　使用する時に、ＫＰＣ－９６１２Ｊの外部ＫＩＳＳアドレスを指定します。
　　スラッシュ（／）の左側が１２００ｂｐｓポートで、右側が９６００ｂｐｓポートです。
　　（１／０に指定した場合、ＫＩＳＳモードでは１２００ｂｐｓポートと９６００ｂｐｓポー
　　トが反転します）
　　Ｇ８ＢＰＱ　ｍｕｌｔｉ　ｄｒｏｐ　ＫＩＳＳとは１つの２３２Ｃポートに複数のＴＮＣを接
　　続する方法です。詳しくはＧ８ＢＰＱソフトウエァーのドキュメントを参照ください。

参　　照：ＩＮＴＦＡＣＥ，ＸＫＣＨＫＳＵＭ，ＸＫＰＯＬＬＥＤ

ＭＹＧＡＴＥ　　KPC-4JB,9612J V5.0　　PACKET

省略語	ＭＹＧ	初期設定値	ＭＹＣＡＬＬ－３

書　　式：ＭＹＧＡＴＥ　×××××－ｎ
　　ＭＹＧ　×××××－ｎ
パラメータ：×××××－ｎ：ゲートウェイ用のコールサインとＳＳＩＤを入力します。
文　　例：ＭＹＧＡＴＥ　ＪＡ１○○○－２
　　ＭＹＧ　ＪＡ１○○○－２
解　　説：ＫＰＣ－９６１２Ｊのゲートウェイ用のコールサインを設定します。
　　（初期立ち上げ時にコールサインを入力した時点で　ＭＹＣＡＬＬに－３が付いたものに自動的に設定されています。）
　　ポート１からポート２、（又は、その逆）へゲートウェイする場合、ゲートウェイを使用するユーザーはコネクトコマンドでデジピートルートの中にＭＹＧＡＴＥのコールサインを指定しなければなりません。（Ｃ ｺﾈｸﾄ局　ＶＩＡ　ｹﾞｰﾄｳｪｲのｺｰﾙｻｲﾝ）
　　ＭＹＧＡＴＥを変更する場合は、他で使用されてないＳＳＩＤに設定して下さい。
　　尚、％を入力することによりクリアーされゲートウエイ機能は停止します。
参　　照：ＨＩＤ

ＯＮＥＲＡＤＩＯ　　9612J　　PACKET

省略語	Ｏ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＯＮＥＲＡＤＩＯ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　Ｏ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：同一周波数で１２００ｂｐｓと９６００ｂｐｓを運用する場合。
　　ＯＦＦ：ポート１、２でそれぞれ別の周波数で運用する場合。
文　　例：ＯＮＥＲＡＤＩＯ　ＯＮ
　　Ｏ　ＯＦＦ
解　　説：１台のトランシーバーに１２００ｂｐｓと９６００ｂｐｓポートを接続した場合や、同一の周波数で１２００ｂｐｓと９６００ｂｐｓを運用する場合に、他の局が１２００ｂｐｓ送信中（ポート１がキャリアー検出中）に９６００ｂｐｓが送信することを防止します。
　　これは、同一周波数で１２００ｂｐｓと９６００ｂｐｓのパケットの衝突を防ぎます。

ＰＢＦＯＲＷＲＤ　KPC-3J 9612J V5.1　PACKET

省略語	ＰＢＦ	初期設定値	NONE PORT1 EVERY 0

書　　式：PBFORWRD bbscall [VIA call1,call2,...call8] [PORT 1/2] [EVERY n/AFTER n]
　　PBF bbscall [VIA call1,call2,...call8] [PORT 1/2] [EVERY n/AFTER n]

パラメータ：bbscall [VIA call1,call2,...call8] [PORT 1/2] [EVERY n/AFTER n]
文　　例：PBFORWRD JA1QRX-1 PORT1 AFTER 1
　　PBF JA1QRX-1 V JA1QRT PORT2 E 1
解　　説：このコマンドはあなたのＰＢＢＳから転送すべきメールを定時的に別の転送系ＲＢＢＳに転送させます。あなたのＰＢＢＳ内に@フィールドを含むメッセージがあり、かつホールドされてなく（Ｈ）、フォワード済（Ｆ）でないメッセージの場合に転送されます。
　　（注：ＨＴＥＸＴコマンドが設定されていないと動作しません。）
　　bbscallで転送するホームＢＢＳのコールサインを指定し、次にPORT 1/2で転送に使用するポートを指定します。　パラメーターの　ＥＶＥＲＹ　ｎ　が指定された場合、このコマンドが設定された時刻を基準にｎ時間に一度フォワードを行ないます。（フォワードすべきメッセージがない場合はフォワードは開始されません）　パラメーターの　ＡＦＴＥＲ　ｎ　が指定された場合、ＰＢＢＳのユーザーが@フィールド付きメッセージを書込後、ＰＢＢＳからディスコネクト直後にフォワードを開始（他局が書いたメッセージはＰＢＨＯＬＤがＯＦＦの場合）し、その後ｎ時間毎に行なわれます。　タイムインターバールのみを新たに設定すると、ただちにフォワードが開始されます。（ＰＢＢＳ内に@フィールド付きメッセージがある場合　例：cmd:PBF E 1↵ ）
　　ＰＢＲＥＶＥＲＳコマンドがＯＮの場合、メッセージのフォワード終了後にリバースフォワードが掛かります。
参　　照：ＨＴＥＸＴ，ＰＢＲＥＶＥＲＳ

ＰＢＨＯＬＤ　KPC-3J 9612J V5.1　PACKET

省略語	ＰＢＨＯ	初期設定値	ＯＮ

書　　式：ＰＢＨＯＬＤ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＰＢＨＯ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：メッセージをホールドします。
　　ＯＦＦ：メッセージをホールドしません。
文　　例：ＰＢＨＯＬＤ　ＯＦＦ
　　ＰＢＨＯ　ＯＮ
解　　説：このコマンドがＯＮのとき、他の局がＰＢＢＳに書込んだ@フィールド付きメッセージをホールド（転送保留）します。このメッセージをフォワード（転送）するにはあなたがエディットコマンド（Ｅ）で転送保留フラグを解除しなければなりません。
　　（例：メッセージ No.4の転送保留フラグを解除する場合、　Ｅ　４　Ｈ）
　　ＯＦＦのときは、他の局がＰＢＢＳに書込んだ@フィールド付きメッセージをホールドしません。この場合ＰＢＦＯＷＲＤで設定するＢＢＳにあなたのＰＢＢＳからフォワードします。（あるいはホームＢＢＳからのリバースフォワードで吸上げられます）
　　メッセージアドレスのＴＯフィールド，@フィールドにあなたのＭＹＣＡＬＬまたはＭＹＰＢＢＳのコールサインが含まれる場合は、ＰＢＨＯＬＤの設定に関係なくホールドされます。（自局宛てメッセージは転送されない）
参　　照：取扱説明書（パーソナルメールボックスの項）

ＰＢＫＩＬＬＦＷ　KPC-3J 9612J V5.1　PACKET

省略語	ＰＢＫ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＰＢＫＩＬＬＦＷ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＰＢＫ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：転送後パーソナルメールを消去します。
　　ＯＦＦ：転送後パーソナルメールを消去しません。
文　　例：ＰＢＫＩＬＬＦＷ　ＯＦＦ
　　ＰＢＫ　ＯＮ
解　　説：ＯＦＦのとき、あなたのＰＢＢＳからパーソナルメールを別の転送系ＢＢＳにフォワード後、メッセージステータスをＦ（転送済）にセットしパーソナルメール自体はＰＢＢＳ内に残ります。ＯＮのとき、あなたのＰＢＢＳからパーソナルメールを別のＢＢＳにフォワード後にＰＢＢＳ内から削除されます。

ＰＢＲＥＶＥＲＳ　KPC-3J 9612J V5.1　PACKET

省略語	ＰＢＲ	初期設定値	ＯＮ

書　　式：ＰＢＲＥＶＥＲＳ　ＯＮ／ＯＦＦ
　　ＰＢＲ　ＯＮ／ＯＦＦ
パラメータ：ＯＮ　：フォワード後にリバースフォワードを行ないます。
　　ＯＦＦ：フォワード後にリバースフォワードを行ないません。
文　　例：ＰＢＲＥＶＥＲＳ　ＯＦＦ
　　ＰＢＲ　ＯＮ
解　　説：ＯＮのとき、ＰＢＢＳから別の転送系ＢＢＳにメッセージのフォワードを終了した後にリバースフォーワードを行ないます。ＰＢＢＳからのリバースフォワード動作はフォワード先のＢＢＳの能力には影響されませんが、リバースフォワードが動作するのはＰＢＦＯＲＷＲＤコマンドで設定するフォワードの後に限られることです。
参　　照：ＰＢＦＯＲＷＲＤ

ＰＨＣＬＥＡＲ　KPC-3J 9612J V5.1　PACKET

省略語	ＰＨＣ	初期設定値	なし

書　　式：ＰＨＣＬＥＡＲ
　　ＰＨＣ
パラメータ：なし
文　　例：ＰＨＣＬＥＡＲ
　　ＰＨＣ
解　　説：ＰＢＢＳにコネクトした局のリストを消去します。

参　　照：ＰＨＥＡＲＤ

ＰＨＥＡＲＤ　　KPC-3J 9612J　V5.1　　PACKET

省略語	ＰＨ	初期設定値	なし

書　　式：ＰＨＥＡＲＤ
　　ＰＨ
パラメータ：なし
文　　例：ＰＨＥＡＲＤ
　　ＰＨ
解　　説：このコマンドはあなたのＰＢＢＳにコネクトした局のリストを表示します。
　　このリストはコネクト局のコールサイン、コネクト、ディスコネクト時間を表示します。
　　最大１０局を表示し、１０局を超えた場合更新されます。１０局に満たない場合はコネクト局数分のみ表示します。

参　　照：ＰＨＣＬＥＡＲ

ＰＯＲＴ　　KPC-4JB 9612J　　PACKET

省略語	ＰＯ	初期設定値	1

書　　式：ＰＯＲＴ　１／２
　　ＰＯ　１／２
パラメータ：　１：ポート１にする。（9612J 1200bps PORT）
　　２：ポート２にする。（9612J 9600bps PORT）
文　　例：ＰＯＲＴ　２
　　ＰＯ　２
解　　説：電源を入れた時に、どちらのポートで最初の送信ができるかを設定します。
　　その後のポートの切り換えは、ＳＴＲＥＡＭＳＷコマンドで行ないます。
参　　照：ＳＴＲＥＡＭＳＷ

ＲＥＳＴＯＲＥ　　ALL　V3.0

省略語	ＲＥＳＴＯＲＥ	初期設定値	

書　　式：ＲＥＳＴＯＲＥ
パラメータ：Ｄ
文　　例：ＲＥＳＴＯＲＥ　Ｄ
解　　説：ＲＥＳＴＯＲＥ　Ｄが実行されるとＴＮＣの各コマンドパラメーターは出荷時設定（デフォルト値）に戻りオートボーレート機能が動作します。初期立ち上げ時と同様にアスタリスク（＊）を入力し立ち上げてください。　ＲＥＳＴＯＲＥ　Ｄを実行するとＰＢＢＳの内容、コマンドパラメーターはすべて初期化されます。
参　　照：ＲＥＳＥＴ

ＸＫＣＨＫＳＵＭ　　9612J V5.2　　PACKET

省略語	ＸＫＣ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＸＫＣＨＫＳＵＭ　ＯＦＦ
　　ＸＫＣ　ＯＮ

パラメータ：ＯＦＦ：チェックサムモードは使用しない
　　ＯＮ　：チェックサムモードを使用する

文　　例：ＸＫＣＨＫＳＵＭ　ＯＦＦ
　　ＸＫＣ　ＯＮ

解　　説：Ｇ８ＢＰＱ外部ＫＩＳＳプロトコルを使用する場合、このコマンドがＯＮの時はチェックサムモード(Checksum mode)で動作します。但し、このコマンドを有効にする為にはＩＮＴＦＡＣＥコマンドをＸＫＩＳＳに設定しなければなりません。

参　　照：ＩＮＴＦＡＣＥ，ＸＫＰＯＬＬＥＤ

ＸＫＰＯＬＬＥＤ　　9612J V5.2　　PACKET

省略語	ＸＫＰ	初期設定値	ＯＦＦ

書　　式：ＸＫＰＯＬＬＥＤ　ＯＦＦ
　　ＸＫＰ　ＯＮ

パラメータ：ＯＦＦ：ポールモードは使用しない
　　ＯＮ　：ポールモードを使用する

文　　例：ＸＫＰＯＬＬＥＤ　ＯＦＦ
　　ＸＫＰ　ＯＮ

解　　説：Ｇ８ＢＰＱ外部ＫＩＳＳプロトコルを使用する場合、このコマンドがＯＮの時はポールモード(Polled mode)で動作します。但し、このコマンドを有効にする為にはＩＮＴＦＡＣＥコマンドをＸＫＩＳＳに設定しなければなりません。

参　　照：ＩＮＴＦＡＣＥ，ＸＫＣＨＫＳＵＭ

(1994. 11.)